

せせらぎ



令和元年 11月 7日発行 No.7

11月に入り、2学期も折り返し地点を過ぎました。今回は、4年生理科の授業の様子をお伝えします。前の時間に金属のあたたまり方の実験を行い、「金属は熱せられたところから順に遠くの方へと温まっていく。」ということを確認しました。そして今日は、水はどのように温まるのか？金属と同じように温まるのか？ほとんどの児童が、「水も金属と同じように温まる」という予想を立てました。果たしてどのように温まったのだろうか？授業が始まりました。

校内研究授業 10/30 (水)

4年理科「もののあたたまり方」

指導者

ねらい「水は熱すると上の方から温まるということを、示温テープを用いた実験を通して理解することができる。」

つかむ

1. 「めあて」をもとめよう
2. 「見通し」をもとめよう

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう

金属はどのようにあたたまりましたか？
「熱したところから順に」

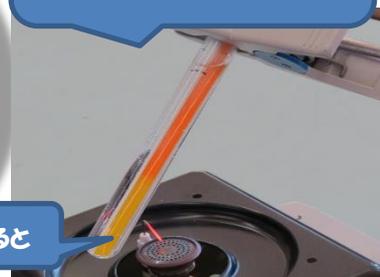


めあて
「水はどのようにあたたまっていくだろうか？」

予想

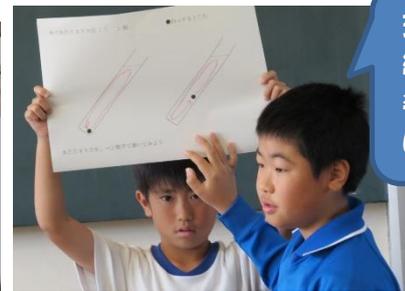


実験スタート
示温テープの色が上の方から変わってきました。



下を熱すると

班ごとに結果を発表しました。



最後に、班ごとの結果をもとに学習のまとめをしました。



実験の様子

まとめ
「水は上の方からあたたまります。」

子供たちは、水は金属と違って上の方から温まるということを示温テープを用いた実験を通して理解することができました。

授業研究会では、「示温テープを使うことで、水は上の方から温まるということを確認することができた。」という意見が出されました。

